

畑の土壌養分は25年間でこう変化している

【1 成果概要】

農業研究センターでは昭和54年度から5年おきに圃場を決めて土壌調査をしています。土壌のpHはどの作物も6巡目で低下し、野菜畑以外は基準(6.0~6.5)を下回っています。土壌のリン酸は野菜畑で増加が続いています。

野菜や小麦、大豆などの畑では、リン酸は50~60%、カリは70~80%の圃場で過剰になっています。

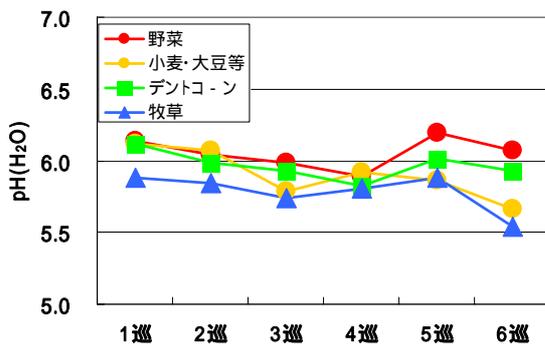


図1 土壌 pH の変化

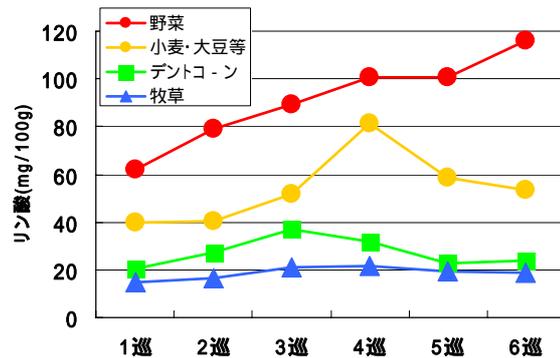


図2 土壌のリン酸の変化

調査年 1巡：S54-58 2巡：S59-63 3巡：H1-5 4巡：H6-10 5巡：H11-15 6巡：H16-20

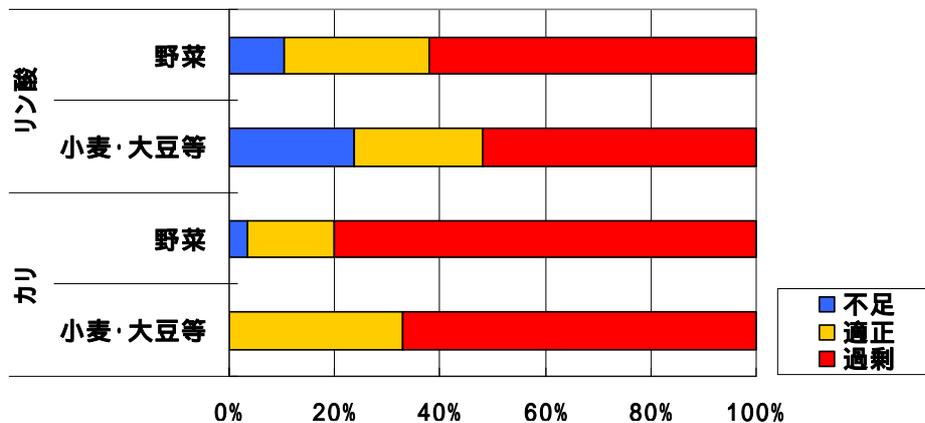


図3 土壌養分の過不足の割合 (6巡目の圃場数の割合)

【2 効果】

肥料費の低減に向けた県全体の施肥指導等の基礎資料として利用されます。

【3 留意事項】

各地域でもリン酸、カリを中心に実態を調査し、肥料費の節約につなげる必要があります。

【4 適応対象】

- 1 地帯 県内全域
- 2 対象者 農業普及員等の指導者等